

新町大正団

上新町

大町協誠団

天下無双の傾奇者
前田慶次「山田原陣笈」

舟舂慶

風流 早川鮎之助

広報 かるまい10

平成22年（2010年）No.619

おーいす
おいさー

今月の主な内容

- 軽米秋まつり 2～3
- 軽米高校音楽部が県で金賞 4
- ひとり親家庭医療費助成事業を拡充 ... 7

本町新栄団

荒町光栄団

蓮合野芙蓉団

風流 天下の大泥棒
石川五右衛門

風流 女武者巴と英

風流 甚盛忠信



華麗 華やかな踊り、美しい音色が祭りを盛り上げました

⑫手踊りを披露した軽米ソーラン愛好会 ⑬威勢のよい太鼓や踊りを見せたさんさ踊り ⑭流し踊りには町内から11団体が出場 ⑮息の合った演奏を披露した軽米マーチングバンド ⑯華やかな衣装で盛り上げた参加者 ⑰中高生も多数参加し祭りに彩りを添えました

躍動 子どもから大人まで一つになって躍動した3日間

⑱⑲「オーイス、オーイサ」の元気な掛け声が響きました ⑳3日間祭りに参加し楽しんだ法政大学（東京都）の学生 ㉑と交流を続けているパルシステムの会員も秋まつりを体験 ㉒強い太鼓の音が秋の空に響きました

伝統の行列練り歩く



元気な掛け声、美しい笛の音、太鼓の音が響いた3日間。軽米の秋の風物詩「軽米秋まつり」が、9月18日から20日にかけて町中心部で開催されました。初日と最終日にはみこしや山車、郷土芸能団体が練り歩き、中日には軽米音頭流し踊りやさんさ踊りが繰り広げられました。伝統の軽米秋まつりの様子を写真でレポートします。

行列 みこしや山車など、約1キロにわたる伝統の行列

①祭りの先頭は全高約3メートルの猿田彦命 ②かわいらしい稚児行列 ③八幡宮や秋葉山のみこしが列をなします ④馬にまたがり勇ましい武者姿を披露 ⑤多くの子どもたちが祭りに参加しました

伝承 子どもたちを中心に受け継がれる郷土芸能

⑥昨年復活した山田獅子踊り ⑦火防の神のお迎え役とされる虎舞が観客の頭にかじりつきました ⑧旧晴高小の児童を中心に受け継がれる高家えんぶり ⑨勇壮な権現舞を披露した沢田神楽 ⑩旧山内小の児童らによる山内神楽 ⑪駒踊りの元気な掛け声と踊りが沿道を沸かせました





NHK 学校音楽コンクール

軽高音楽部が金賞

県立軽米高等学校（笹山眞澄校長、生徒二百七十八人）の音楽部（滝沢希実部長、部員十六人）が、八月二十六



県コンクールで見事金賞に輝いた軽米高校音楽部の皆さん

日に北上市で開催された第七十七回 NHK 全国学校音楽コンクール岩手県コンクールで見事金賞に輝き、東北ブロックコンクールへの出場を決めました。部長の滝沢さんは「金賞をとれて、東北大会に出場できることになりとてもうれしいです。部員も少ないので一人ひとりがしっかりと声をだし、東北大会では軽米高校らしい演奏ができるようにしたいです」と話していました。

東北ブロックコンクールは、九月十二日に宮城県名取市で開かれ、東北各県から全十二校が出場。同校は奨励賞を受賞しました。

顧問の三船桂子先生は「いつも緊張して失敗してしまうことが多かったんですが、それを乗り越えるために生徒自身がよく考えながら練習を頑張ってきました。本番では持てる力を出しきることができたと思います」と生徒の頑張りをたたえていました。



賞状を手に入賞を喜ぶ福田君（右）と蛇口さん

円子小の2人絵画入賞

ー福田くん全国で佳作ー



←全国佳作に輝いた福田君の作品

円子小学校（中里恵利子校長、児童三十四人）の福田公希君（六年）が第十四回全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール（全国小中学校環境教育研究会）で佳作に入賞しました。福田君の作品は、自然豊かな円子地区の未来の姿をイメージした作品です。福田君は「いつまでも素晴らしい景色であってほしいという思いで描きました。初めて全国で入賞できたのでうれしかったです」と笑顔を見せていました。

また、第一回介護予防キャンペーンポスターコンクール（二戸地区広域行政事務組合主催）では、同校の蛇口彩菜さん（同）が優秀賞に輝きました。蛇口さんの作品は、自分のおじいちゃんおばあちゃんが元気で長生きしてほしいという思いを描いた作品で、カシオペア介護予防アクション2010のポスターに掲載されています。



花いっばいコンクール 高柳・花の会が7年連続の最優秀賞

学校は軽米中、家庭は山崎さん

※最優秀賞の花壇写真を裏表紙に掲載しています

- ◆地域花壇の部
 - 【最優秀賞】高柳・花の会（7年連続）
 - 【優秀賞】沢田公民館環境部
 - 【優良賞】鶴飼部落常会、長倉・花の道、笹渡・花の会、赤富士、下円子老人クラブ花壇、東・花の会、小玉川・フラワーロード、向高家老人クラブ花壇
 - 【奨励賞】西里花づくりサークル、小玉川・フラワー広場、町社会福祉協議会・ふくし花壇、上館・沿道花壇
- ◆学校花壇の部
 - 【最優秀賞】軽米中・学校花壇
 - 【優秀賞】小軽米中・スマイル
 - 【優良賞】小軽米小・さわやか花壇、笹渡小中・ササズガーデン
 - 【奨励賞】円子小・学校花壇、晴中福祉花壇・晴中花壇
- ◆家庭花壇の部
 - 【最優秀賞】家庭花壇（山崎孝太郎、鶴飼）
 - 【優秀賞】家庭花壇（細谷地キエ、高柳）
 - 【優良賞】家庭花壇（松山まつよ、上増子内）

花いっばいビューティ軽米推進コンクール審査結果 (敬称略)



長興寺 玲奈 さん (軽米小6年)

記録 80 ㎍ハードル優勝 14 秒 97



大崎 拓真 君 (円子小6年)

記録 6 年 100 ㎍優勝 12 秒 83 (参考記録) 走高跳 優勝 1 m36

二戸地区で自慢の俊足披露

第四十七回二戸地区小学校陸上競技大会が九月十四日に一戸町で開かれ、円子小六年の大崎拓真君が六年百メートル共通走高跳の二種目で優勝、軽米小六年の長興寺玲奈さんが共通八十メートルハードルで優勝しました。三位までに入賞した児童は次のとおりです。（敬称略、○に数字は順位）

男子：六年百メートル③清水由人（軽米）
共通八十メートル③輪達恒亮（同六年）
女子：五年以下八百メートル②上山遥香（晴山五年）
共通走高跳②松田悠（軽米六年）
共通走幅跳②細谷地彩乃（笹渡五年）
五年百メートル③細谷地彩乃

第二十二回花いっばいビューティ軽米推進コンクルールの審査会が八月二十六日に行われました。

同コンクールには地域、学校、家庭花壇の三部門に二十二組が応募。地域花壇の部では高柳・花の会（裴主榮一代表）が七年連続の最優秀賞を受賞。また学校花壇の部では軽米中、家庭花壇の部では山崎孝太郎さん（鶴飼）が最優秀賞を受賞しました。

七年連続の最優秀賞に輝いた高柳・花の会は、国道沿いの花壇に「アキカン」と「ス

テルナ」の文字を花でデザインし、ごみがなくきれいな地区にしたいという思いが込められています。代表の裴主さんは「地区の子どもや育成会、老人クラブなどみんなが一つになり一生懸命取り組んできたことが結果につながったと思う」と話していました。

また個人の部で最優秀賞の山崎さんは「仕事も忙しいけど、きれいな花が咲くのを楽しみに、ばあちゃんと一緒にやってんだ」と笑顔を見せていました。

結果は右表のとおりです。

軽米ミニバス男子 県大会で敢闘賞受賞



チーム初の県大会入賞を果たした軽米ミニバスクラブ

第13回岩手県ミニバスケットボール交流大会が9月11日から12日まで、岩手県営体育館などで開催され、軽米ミニバスケットボールスポーツ少年団（中里将幸代表、団員26人）が3位に入賞し敢闘賞を受賞しました。県内各地区の代表、男女各16チーム、計32チームが参加して行われたこの大会で、二戸地区代表の同少年団（クラブ）は男子の部1次リーグを2連勝し首位で通過。続く決勝リーグは準決勝で敗れたものの、3位決定戦で桜台ミニバスに勝利。県大会でチーム初の入賞を果たしました。

【結果】

1次リーグ 軽米 51 - 50 津志田（盛岡紫波地区）
軽米 59 - 52 佐倉河（奥州地区）
決勝リーグ 軽米 39 - 51 雫石（岩手地区）
軽米 32 - 26 桜台（花巻地区）

ひとり親家庭医療費助成事業

父子家庭も 助成対象に

本年10月1日から「ひとり親家庭医療費助成事業」が始まりました。現在の母子家庭医療費助成事業を、父子家庭の方にも拡大し、ひとり親家庭医療費助成事業として実施するものです。

【新たに助成対象となる方】

18歳未満のお子さんを扶養している配偶者のいない男性と、その扶養を受けている18歳未満の子ども

【助成額】

医療保険で診療を受けた時に支払った自己負担額

【対象医療機関】

全ての医療機関及び薬局

【所得制限】

所得による制限はありません

【手続き方法】

印鑑、通帳、父と子どもの保険証を持参のうえ、役場町民生活課で手続きしてください

※医療費助成の開始日は、申請を受けた月の初日からとなりますので、お早めに申請して下さい。

※現在「母子家庭医療費助成」を受けている方は、手続きする必要はありません。また現在お使いの「母子家庭医療費給付申請書」も今まで通りご利用できます。

【問い合わせ先】

役場町民生活課
町民生活グループ
☎ 4 6 - 4 7 3 4

◎町には次のような医療費助成制度があります

医療費給付事業名	対象者（町内在住）	対象となる期間	対象医療機関	担当
児童・生徒	・小学生及び中学生	就学時から15歳に達した年度末まで	町内の医療機関及び薬局が対象（薬局は町内医療機関の処方箋に限定）	町民生活課 ☎ 4 6 - 4 7 3 4
乳 幼 児	・就学前までの乳幼児	出生から6歳に達した年度末まで	医療機関及び薬局の制限無し	
妊 産 婦	・妊産婦	妊娠5か月目の月の初日から出産した日の翌月末まで		
NEW ひとり親家庭	・18歳未満の子を扶養している配偶者のいない男性又は女性と、その扶養を受けている18歳未満の子 ・父母のない18歳に達するまでの児童	児童が18歳に達した年度末まで		
重度心身障害者	・身体障害者手帳1級又は2級 ・特別児童扶養手当1級 ・障害基礎年金1級 ・療育手帳A及び特別障害給付金1級	左記に該当した日の属する月の初日から、該当しなくなった日の属する月の末日まで		

※【所得制限】なし 【助成額】医療保険で診療を受けた時に支払った自己負担額

医療給付費事業名	対象者（町内在住）	対象となる期間	対象医療機関	担当
寡 婦 等	・寡婦のうち69歳までの方 ・児童が18歳に達した以後に配偶者のない女子になった69歳までの方	70歳に達した月の末日まで	医療機関及び薬局の制限無し	健康福祉課 ☎ 4 6 - 4 1 1 1

※【所得制限】前年の本人所得が150万円を越える場合又は世帯の所得が300万円を越える場合は対象となりません 【助成額】医療保険で診療を受けた時に支払った自己負担額の2分の1



山館団長を先頭に堂々と行進する町消防団

九月十九日、午前六時の訓練用サイレンに始まった町消防団は、軽米中グラウンドを主会場に行われ、町消防団（山館松五郎団長）と町婦人消防協力隊連絡協議会（工藤郁子会長）あわせて約四百四十人が参加しました。消防協力者と退職消防団員への町長感謝状贈呈、功労団員の表彰の後は、部隊訓練、町裏手の雪谷川河川敷で放水訓練を実施。消防自動車全二十七台から天高く一斉放水されると、沿道に集まった観客からは拍手と歓声が上がっていました。



出席者を代表し謝辞を述べる佐藤さん（右）

平成二十二年度町敬老会が九月十八日に町民体育館で開催され、約三百五十人（対象者千三百五十七人）数え年八十歳以上）が出席しました。式典にあたり山本賢一町長は「本日はおめでとうございます。長年にわたる皆さんの努力で町は発展してきました」と祝辞。記念品として米寿（八十八歳）の方に銀杯、

傘寿（八十歳）の方に木杯を贈りました。また町社会福祉協議会（菅原皓文会長）からは、傘寿を迎える方に杖が贈られました。参加者を代表して佐藤守弘さん（本町）が「毎日を明るく楽しく、元気に生活していくとともに、町の発展のために何らかのお手伝いをしていきたい」と謝辞を述べました。式典後には、乙坂しのぶさんによる歌謡ショーが行われ、会場は盛り上がりしました。

災害に強い町へ

九月十九日、午前六時の訓練用サイレンに始まった町消防団は、軽米中グラウンドを主会場に行われ、町消防団（山館松五郎団長）と町婦人消防協力隊連絡協議会（工藤郁子会長）あわせて約四百四十人が参加しました。

消防操法訓練、ラッパ隊訓練などを披露。小玉川少筆消防クラブ員によるミニポンプ操法演技や、観音林ちびっこ消防クラブ員による元気なダンスが演習を盛り上げました。雪谷川河川敷では、岩手県防災ヘリ「ひめかみ」による水難救助・救出訓練が行われました。団員らは町中心部を堂々と分列行進した後、仲



1分団3部に交付された消防車両

充実装備の消防車両 1分団3部に納車

町消防団第1分団第3部（大鳥順一郎部長）に9月15日、油圧カッターやチェーンソー、AEDなどを装備した消防車が配備されました。この車両は総務省消防庁の事業により無償で貸与されたもので、同日行われた交付式で、安全祈願が行われた後、山本町長から町消防団、町消防団から同部へと交付されました。

十文字チキンカンパニーが創業50周年 感謝の気持ちで町に寄附

株式会社十文字チキンカンパニー（十文字保雄代表取締役社長）は、同社の創業50周年を記念して町に200万円を寄附しました。



山本町長に寄附目録を手渡す十文字社長（右）

9月24日に役場を訪れた十文字社長は「地域の皆さんのおかげで50周年を迎えられた。町民の皆さんへの感謝の気持ちを込めて寄附を贈らせていただきます」と、山本賢一町長に目録を手渡しました。

民生児童委員協議会がタオル寄付 持ち寄ったタオルを贈る



笹山さん（左）と田中さん（左から2人目）が代表で大清水所長に手渡しました

町民生児童委員協議会（上岩恵美子会長）は九月十七日、特別養護老人ホームいちい荘（大清水良治所長）にタオル百六十三本を寄贈しました。施設を訪れた民生児童委員十人を代表して笹山茂男さんと田中辰男さんが大清水所長に手渡しました。今回寄贈されたタオルは、同協議会の高齢者部会、障がい者部会が中心となり委員に呼びかけ、自宅などから持ち寄ってもらい集まったものです。寄贈されたタオルは、入所者の入浴時などに使われる予定です。

大きなひょうたんを収穫 見事なひょうたんを収穫

「こんなに大きくなるとは思わなかった」と話す横島享子さん（横枕）の菜園で今年、縦七十センチ、胴回り百十センチ、重さ十八・五キロの大きなひょうたんが収穫されました。三年前からひょうたん作りを始め、今年初めて大きいひょうたんの種をまいたところ、一つだけ実をつけ、ここまで成長したそうです。今後、中身を取り除き観賞用に加工する予定で、横島さんは「うまくできるかは分かりません。どうなるか楽しみです」と話していました。



台と網で固定され大事に育てられたひょうたんと横島さん

炭焼き体験学習 炭焼き作業で知識深める



機械を使って木を割る作業に児童も興味津々

軽米小学校の三年生は九月十三日と二十一日に、フォリストパーク軽米で炭焼きの体験学習をしました。町内木炭生産者有志で組織する「白煙会」の会員から、炭の歴史や使い方、炭焼きの仕事などについて説明を聞いた後、炭のもとになる木を同じ大きさに切り炭窯に入れる作業を体験しました。二十一日には完成した炭を取り出し観察するとともに、まつぼっくりや各自持ち寄った野菜などを使って飾り炭作りを楽しみました。

盛岡農業高校生が雑穀収穫体験 パンの材料を自分で収穫

一戸町の一野辺製パンと共同で雑穀パンの製造・販売を行っている盛岡農業高校食品科学科パン研究班の生徒八人が九月二十一日、長倉地区のほ場で、パンの材料であるキビの収穫体験を行いました。生徒らは、地元の生産者から雑穀の生産に係る思いなどを聞いた後、コンバインに乗って収穫を体験。生産現場を目で見て体験し、パン作りへの思いを新たにしていました。



コンバインを使って収穫を体験する盛農生

久慈拓陽支援学校生徒がヒエポンにお礼 ヒエポンのおかげで楽しい旅に

久慈拓陽支援学校中学部の生徒六人が九月二十二日、町ホームページイメーজキャラクターのヒエポンへお礼をするため町役場を訪れました。同校では、着ぐるみを着る生徒が修学旅行先の遊園地で怖がらないように、事前に慣れさせておきたいという思いで、町からヒエポンの着ぐるみを借りていました。役場を訪れた生徒らは、「修学旅行楽しかったです。ヒエポンありがとう」とお礼を述べるとともに、旅行の写真やクッキーをプレゼントしました。



ヒエポンへのお礼のために役場産業振興課を訪れた久慈拓陽支援学校の生徒たち

お年寄りとの交流深める 軽米中でおかげさま活動



お話をしながら給食を楽しんだ後、折り紙遊びなどで交流を深めました

軽米中学校の三年生は九月二十二日、総合的な学習で四つのグループに分かれ「おかげさま活動」として清掃活動や地域住民との交流会などを行いました。同校を会場に行われた給食交流会には、地域のお年寄り十三人が招かれ、一緒に給食を食べ、折り紙やあや取り遊びなどをして交流しました。参加した成田静枝さん（本町）は「一人暮らしということもあり一緒に遊べて楽しかった。子どもたちはとってもかわいかったです」と笑みを浮かべていました。

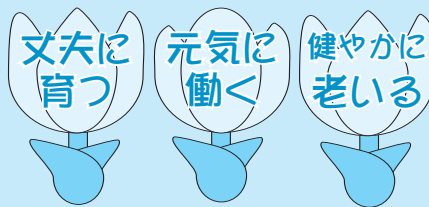
昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

消防団と消防署による防災の日総合訓練が、8月29日に消防防災庁舎屋外訓練場で行われました。救援物資搬入訓練では、飲料水や食料などを素早く搬入するなど、災害時の行動が迅速・確実に行えるよう、基礎訓練に取り組みました。



素早い動作で救援物資を搬入する消防団員たち



健康福祉課主任栄養士 工藤 晃子

自分に合った健康管理を

メタボリックシンドローム予防のための「メタ防クラブ」を10月から4月まで開講します。これは、今年受けた特定健診の結果から、自分のからだの状態を理解し、健康管理を自分で考えるものです。ウォーキングで気持ちよさと体力の向上を実感し継続している人、夕食後のお菓子や間食を見直し体重管理をしている人、野菜の必要性を知り食べるよう心がけている人など、多くの方々が自分の生活に合った無理のない方法を考え、健康管理を実践しています。

年に1回の特定健診、結果をもう一度確認しご自分の生活に活かしてください。もし治療が必要な異常が発見されたら、必ず医療機関を受診して病気の芽を早めに摘むようにしましょう。

夢・希望・えんぴつ



小軽米中学校3年 (河北)
中島 亮 さん

受け継いできたもの

「声小せえぞ！もつと腹から出せ！」

まだ慣れていない校歌を精一杯歌う一年生とそれを聞く応援団の生徒。四月の応援歌指導の風景だ。大きな行事ではないが歴代伝わってきたとても大切な行事だ。一年生に小学校との違いを教える場でもある。

先日、二戸地区の駅伝大会があった。人数は少ないながらも、精一杯の声援は選手の励みになったに違いない。人数は少なくとも出来ることを一生懸命やる。小軽米中学校のよいところだと思う。

前期生徒会は十月で引き継ぎとなる。最後の大行事は文化祭だ。今年で吹奏楽部が廃部になるため、来年からは大変になるだろう。しかし、歴代引き継いできた心意気で乗り越えていけると信じている。

文化祭のテーマは、スローガンの「風紋」にちなみ、彩りの風で「彩風」と決めた。僕たちの過ごした日々を心に残そうという願いを込めた。四十六人それぞれの思いを風に乗せて。どの学校にも負けない最高の文化祭にするつもりだ。



二戸市ふるさと振興株式会社
なにやと物産センター
(カシオペアメッセなにやと1階)

お客さんに笑顔と元気を



はるか
小笠原 悠 さん
(20歳、下新町)
身長156.5cm、A型
なにやと物産センター勤務

カシオペアメッセ・なにやと物産センターで働く小笠原悠さん。すてきな笑顔で、新幹線などで多方面から訪れるお客さんを出迎えています。

Q、どんな仕事をしていますか？
軽米を含む二戸地区をはじめ、トリコロールエリアの特産品の販売をしています。今年の四月から勤めています。

Q、今の職業を選んだ理由は？
人と接する仕事がしたいと思い選びました。実際仕事をしてみて、お客さんからたくさん

元気をもらっています。私も店に来たお客さんに、たくさん笑顔と元気をあたえたいと思っています。

Q、自分の性格を一言で言う？
ムダに明るく、ムダに元気です！

Q、趣味や休日にやることは？
音楽鑑賞。最近はいろいろなお酒を飲むことにはまっています。(強いわけではありませんが大好きです)

Q、町をどう思いますか？
自然がいつでもとても落ち着けるところです。ずっとこのままがいいですね。

▼好きなスポーツ：野球、テニス、卓球。バスケットを見るの好きです

▼好きな色：黒・ピンク

▼好きな花：チューリップ

▼好きな食べ物：辛いもの

▼嫌いな食べ物：甘いもの

▼理想の異性のタイプ：一緒に楽しんでくれる人。包容力のある人。巨人の阿部選手みたいな人がタイプです。

☆当コーナーでは、町在住、または町で働く若者を紹介しています

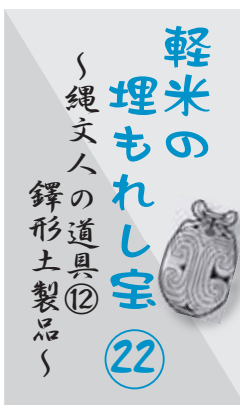
第二十回で紹介したキノコ形土製品が流行した頃、縄文時代後期前葉(約四千年前)の一時期だけに流行した土製品に、「鐸形土製品」と呼ばれる小さな土製品もあります。

これもキノコ形と同様、北東北で共通の十腰内土器文化圏でのみ出土するもので、※期間限定・地域限定品」とも言われるほど稀な存在ですが、当町からは駒板(折爪サーピスエリア)・大日向Ⅱ・長倉遺跡などから計百十四個分と大量に出土しています(写真)。

形はお寺にある釣り鐘のよう、上部に穴の空いた突起状のつまみがあり、下部は脹らんで中が空洞になっています。

大きさは概ね五センチ程度と片手で包み込めるほど小型です。表面には、S字状の沈線や丸い刺突や刻みを全周に配置して幾何学的な模様が描かれています。

「鐸」とは、上部の紐を通して



長倉 | 遺跡出土の鐸形土製品 (岩手県蔵)

吊す紐と、内部に細身の棒を吊した舌により音を鳴らすもので、弥生時代の「銅鐸」が有名です。

しかし鐸形土製品の内部に舌は無く、また金属器と違って脆く壊れやすいので、叩いたりして楽器のような使い方はできないようです。祭壇などに吊り下げていたという説が有力です。

これも付けられた名前と違って、考古学的には、実際何に使ったか分からない不思議な土製品ですが、素朴な縄文人の息吹に触れることができる貴重な資料です。

(※)酒井宗孝ほか 二〇〇〇年「縄文人の世界」『いわて未来への遺産 遺跡は語る 旧石器・古墳時代』岩手日報社

(教育委員会学芸員 藤田直行)

今月の俳句

(北光吟社 八月例会句会)

盆済めば淋しくなりし家の中 川島由蔵

出来秋の今年も良しと安堵かな 早川慶子

盆踊り見知らぬ人の多くなり 中田紀子

体調の一喜一憂秋の空 三上千栄女

猛暑中夜毎に増える虫の声 川崎郁子

炎天下パラソルくるり廻しゆく 丹下美恵子

枝豆を挽ぐ老二人木陰借り 千葉紅園

灯を消して闇の涼しさありにけり 松村英子

台風の子報にもぎし早生りんご 端川石造

※町文化協会「北光吟社」の例会より俳句を紹介しています

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所 (☎ 4 6 - 2 0 0 4)

みんなで作ろう安心の町



～全国地域安全運動～

◎実施期間

平成22年10月11日(月) から10月20日(水) までの10日間

◎運動の重点

- ・子どもと女性の犯罪被害防止
- ・住宅を対象とした侵入犯罪の防止
- ・万引き、自転車盗の防止
- ・振り込め詐欺の被害防止

◎ご注意ください

全国的に、子どもや女性が被害者となる事件が発生しており、県内においても「声掛け事案」「つきまとい」なども依然として発生しています。また、鍵をかけていない住宅を狙った侵入犯罪や、万引き、自転車の盗難も身近なところで多く発生しています。

※岩手県警察では、県民の皆様が安心して暮らせるよう、関係機関や団体、地域の皆さんと緊密な連携を図りながら、各種被害防止対策を推進しています。

8月の事故と救急の数字

▶町内の交通事故、救急車出動回数

	当月	累計	昨年比
人身事故	0件	3件	-7
死亡者	0人	0人	±0
負傷者	0人	4人	-6
物損事故	14件	89件	+25
救急車出動回数	43回	239回	+8

※(累計)は1月からの合計
※見直しにより前月の数値と異なる場合があります

▶飲酒運転検挙者はありません

軽米病院だより

県立軽米病院 (☎ 4 6 - 2 4 1 1)

円滑な医療のため時間外の受診を考えましょう

軽米病院は2次救急病院に指定されており、当直の医師、看護師が急患の対応を行います。軽米町の救急車の70～75%は軽米病院に来て、必要があれば専門の科のある別な病院に転送します。医師の当直は常勤医も担当しますが、大学からの応援医師が多くを引き受けてくれて助かっています。医師不足のため医師は当直の翌日も休めず、いつもどおりの勤務が待っています。このような状態で医療を円滑に行うためには、当直の医師に過度の負担をかけないことが必要です。

軽米病院の急患の中には、コンビニ受診（緊急性のない患者が時間外に救急外来を受診する行動）の患者さんは少ないと思いますが、それ

でも、かぜ症状で早朝受診、血圧が通常より少し高いため救急受診、いつも当直の時間帯だけ薬をもらいに受診など、勤務時間内の受診で間に合うのに救急受診する例が時々見受けられます。円滑な医療を行うためにも、このような受診を減らすことが必要です。ある病院では「どんな急患も診るのが当然だ」と患者さんから言われて病院をやめた医師もいたそうです。

一方で、救急受診すべきなのに我慢する人もいます。大きなけが、意識がはっきりしない、手足が動きにくい、ろれつが回らない、呼吸が苦しい、胸が強く痛む、血を吐いた、腹が強く痛むなどの場合には早めの受診が必要です。

(軽米病院長 横島孝雄)

町民生活課だより

町民生活課町民生活グループ (☎ 4 6 - 4 7 3 4)

二戸年金事務所 (☎ 2 3 - 4 1 1 1)

国民年金ってどんなもの？

日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方が加入して保険料を納めている国民年金には、次のようなさまざまなメリットがあります。

■メリット1：生涯の年金額は保険料の1.7倍以上
国民年金の老齢基礎年金は、2分の1が税金で賄われるため、支払った保険料を上回る給付を受けることができる計算となります。厚生労働省の試算では、1985年生まれ（2005年に20歳）の方でも納めた保険料の1.7倍以上となります。（日本人の平均寿命参考）

■メリット2：老後を支える終身年金

国民年金は、生きている限り年金が受け取れる一生涯の保障であり、老後の生活をサポートします。

■メリット3：ケガや病気、万が一のときにもサポート

国民年金は、老後の保障だけでなく、加入者がケガや病気により障害が残ったときは「障害基礎年金」、亡くなられた時にはその遺族に「遺族基礎年金」が支給されるなど、あなたの生活をサポートしています。

■メリット4：納めた保険料は社会保険料控除の対象

納めた保険料は、確定申告の際に全額が「社会保険料控除」として認められています。

■メリット5：国民年金は経済の変動にも負けません

賃金や物価の変動にあわせて、年金を支える力と給付のバランスをとる仕組みにより年金額が改定されるため、年金に加入してから受給するまでの間、経済社会が大きく変動したとしても、年金の価値が保障されます。

図書館だより

町立図書館 (☎ 4 6 - 4 3 3 3)

今月の図書館ひろば

日時：10月23日 10:00～11:00 対象：小学校低学年
場所：町立図書館となり「蔵」 幼児

－ 今月の新刊 －

【児童書】

いないいないのいるよ



(アリス館)

著／近藤薫美子

なんにもいない？と思ってページをめくると、いる、いる、いるよ！かくれてた虫が動き出す。なにかに似せて、自分を守っているよ。うしろからも楽しめる絵本。

アンモナイトの森で



(学研教育出版)

作／市川洋介 絵／水野ぶりん

純粋なたましいを持ち、森に生きる動物たちの心をも理解できるために、人と自然のあいだで、悩み苦しむ少女チヨ。明治の北国を舞台に織り成す感動のドラマ。

【一般書】

夢をつなぐ 山崎直子の四〇八八日



(角川書店)

著／山崎直子

亡くなった女性宇宙飛行士の夢を受け継ごうと思った少女。それから24年、ついに夢が叶うときが来た！日本人女性宇宙飛行士・山崎直子のミッション全軌跡。

農家が教える家庭菜園 秋冬編



(農山漁村文化協会)

編／農文協

秋冬野菜の定番、白菜、大根やイタリア料理に欠かせないハーブなど72種を紹介。自家採取・混植・保存の技など原産地から学んだ農家の知恵が満載！

10月 October

16	土	少年野球教室【ハ】（～17日）
17	日	町長杯ゴルフ大会
18	月	
19	火	二戸地区法律相談【消費生活センター】10:00～15:00（要予約☎23-5800） ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付
20	水	1歳児健診【ふ】13:00～13:30受付
21	木	
22	金	ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付
23	土	図書館ひろば【図】10:00～ 秋季ゲートボール大会【ケ】
24	日	食フェスタinかるまい【町中心街】 夜間・休日の納税相談【役場税務会計課】（～26日）
25	月	
26	火	ポリオ予防接種【ふ】13:30～14:00受付
27	水	
28	木	うまっこ教室【ふ】9:30～12:00
29	金	
30	土	
31	日	第31回町民文化祭 開幕式典【環】9:00～ ステージ発表【環】9:30～ 展示部門【公】9:00～（～3日）

11月 November

1	月	町税の納期（町県民税3期、国民健康保険税4期）
2	火	二戸地区法律相談【消費生活センター】10:00～15:00（要予約☎23-5800）
3	水	【文化の日】
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	うつ病予防講演会【公】13:30～15:00
10	水	町小中学校音楽祭【軽米中学校】 乳児健診【ふ】13:00～13:30受付
11	木	
12	金	家族介護者教室【ふ】
13	土	
14	日	
15	月	成分献血【役場・地域整備課車庫前】10:00～12:00、13:00～16:00

（カレンダー中の【 】は開催場所下記のとおり表示します）	
体:町民体育館	環:農村環境改善センター
図:町立図書館	病:県立軽米病院
老:老人福祉センター	フ:雪谷川ダムフォリストパーク・軽米ミ:ミレットパーク
歴:歴史民俗資料館	ハ:ハートフル・スポーツランド
運:町営運動場	ゲ:ゲートボール場

スナッフ写真館

町消防演習
（9日19日、軽米中ほか）



工藤郁子隊長が
隊の指揮をとり



火遊びは絶対にしないと誓った
ちびっこたち



ラッパ隊による息のあった演奏が
分列行進を先導しました



消防車27台による放水訓練が演
習のフィナーレを飾りました

お知らせ
情報

Information

募集します

医学生奨学金制度
ご活用ください

県や市町村では、将来県内で勤務する医師を目指す医学生へ奨学金制度を用意しています。この制度は、貸与を受けた方に学資としてご活用いただき、卒業後は医師として県内の公的病院（県立病院や市町村立の医療機関など）に一定期間勤務していただくもので、勤務後は奨学金の返還が免除されます。

▶種別・募集人員

- ①市町村医師養成修学資金…15人
- ②医療局医師奨学資金（一般枠）…15人
- ③同（岩手医科大学新入生枠）…10人

▶応募資格

- ①将来県立及び市町村などの医療機関の医師として業務

に従事しようとする意思のある人

- ②将来県立病院などの医師として業務に従事しようとする意思のある人

- ③新たに岩手医科大学医学部に入学し、将来県立病院などの医師として業務に従事しようとする意思のある人

▶募集時期：3月

▶貸与額

- ①月額20万円、入学一時金760万円（私立大学1年次入学者のみ）
- ②国立大学…月額20万円
- 私立大学…月額30万円
- ③月額30万円

▶返還免除

- ①臨床研修を受けた後、県立及び市町村立などの医療機関で通算6年間勤務した場合など
- ②③臨床研修を受けた後、県立病院などで通算6年間

内科(9:00～17:00) 休日当番医 歯科(9:00～12:00)

おりそ内科循環器クリニック (☎22-2251)	二戸市福岡	10月17日（日）	ほんだ歯科クリニック (☎23-9591)	二戸市石切所
浄法寺診療所 (☎38-2021)	二戸市浄法寺	24日（日）	菅原歯科クリニック (☎23-1180)	二戸市福岡
松井内科医院 (☎33-2201)	一戸町一戸	31日（日）	関歯科医院 (☎38-2937)	二戸市浄法寺
菅整形外科皮膚科クリニック (☎23-7311)	二戸市石切所	11月3日（水）	沢藤歯科医院 (☎25-4002)	二戸市堀野
川村医院 (☎23-3252)	二戸市福岡	7日（日）	ますだ歯科クリニック (☎26-8282)	二戸市石切所
いちのへ内科クリニック (☎33-2701)	一戸町高善寺	14日（日）	三澤歯科医院 (☎23-2445)	二戸市福岡

もしもの時に備えてますか？

3,000×80回で大きな安心 玉姫グループ互助会 会員募集中

宿泊室完備…24時間いつでも病院から直接入室できます。

お年寄りの方や、お体の不自由な方にも対応したバリアフリー施設です。

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館

24時間受付 電話46-4109

軽米セレモニーホール眞照堂

岩手県九戸郡軽米町大字上館15-130-1

※広報かるまいでは、町内の業者などからの広告を掲載しています

軽米町・青空マーケット

個人・商店 町内の方々が出店！



次回は10月31日

（問）㈱軽米町産業開発（TEL46-4222）

参加者募集

ミル・みるハウスのイベントに出店する個人・団体を募集しています。出店するものは自由です。リサイクル品・商品の販売から、芸能・文化の発表の場としてもミル・みるハウスを活用してください！

勤務した場合

【問い合わせ先】岩手県保健福祉部医療推進課（☎019-629-5427）

ご相談ください

福祉のお仕事相談
毎月第2・4火曜

〈10・11月〉

▶開催日：10月26日（火）
11月9日（火）

▶時間：13:00～15:00

▶場所：ハローワーク二戸

▶相談内容

福祉の資格・取得方法、福祉の仕事内容、求人情報、福祉の仕事体験、資格取得後プランクがあり再就職に不安など
※お電話でご連絡のうえお越しください

【問い合わせ先】岩手県福祉人材センターキャリア支援専門員（☎080-1651-6203）

二戸消費生活センター
消費生活相談のご案内

平成22年11月の相談日は次のとおりです。予約制となっていますので電話でご連絡のうえお越しください。

◎法律相談

11月2日（火）、16日（火）

◎お金と暮らし相談

11月12日（金）

◎多重債務相談

11月9日（火）

※場所：二戸消費生活センター（二戸地区合同庁舎内）

【申し込み・問い合わせ先】二戸消費生活センター（☎23-5800）

その他

今後の県立高校に関する
地域懇談会を開催します

新しい高校づくりの推進や第二次県立高等学校整備計画（仮称）の策定に向け、県民の方々から意見を伺う地域別懇談会を開催します。二戸ブロックは次のとおり開催します。

▶日時：10月29日（金）
18:30～20:00

▶場所：一戸高等学校

▶懇談テーマ：地域の高校配置等に関する意見交換

【問い合わせ先】岩手県教育委員会（☎019-629-6206）

二戸地区広域行政事務
組合の定例会を開催

二戸管内4市町村で構成している二戸地区広域行政事務組合の10月定例会が開催されます。

暮らしに身近な消防、介護保険、し尿処理、ごみ処理などの共同処理事業について質疑が行われます。お気軽に傍聴してください。

▶日時：10月26日（火）
10:00～

▶場所：二戸地区広域行政事務組合会議室

【問い合わせ先】二戸地区広域行政事務組合事務局（二戸地区衛生センター内☎23-7772）

カシオペア合唱祭
11月14日に開催

第18回カシオペア連邦合唱祭を開催します。お気軽にご来場ください。

▶日時：11月14日（日）
13:30開演

▶場所：二戸市民文化会館

▶内容：第1部「カシオペア連邦内合唱団の演奏と児童生徒の演奏」第2部「ゲスト演奏と出演希望校の演奏」フィナーレ「全員で合同合唱」
▶入場料：500円（中学生以下無料）

▶出演団体：連邦内の合唱団、小中高生（町からは軽米童謡を歌う会）

【問い合わせ先】カシオペア連邦合唱連名事務局（☎27-2389）



好評発売中

軽米町産さるなし100%使用

さるなしの雫

（甘口、リキュール）

500ml ¥1,260（税込み）

販売元・お問い合わせ
リカー&フーズこばやし（TEL46-2059）



冠婚葬祭 8月届出分 ＜敬称略＞

おめでた () 内は父母の名

門 前 鶴 飼 日 和	(大亮・柚香)
屋 敷 松 田 吏 誉	(鉄幸・善子)
河 北 清 藤 ゆう 雄 賀	(秀・愛姫)
外川目 関 向 あや 彩 果	(利洋・朱実)

おしあわせに

川 原 木 剛	(大 町)
一 條 麻 未	(仙台市)

おくやみ () 内は享年

下 河 南 中 野 すま子	(90歳)
下門子上組 於 本 喜 六	(66歳)
米 田 田 澤 直二三	(90歳)
蛇 口 西 舘 徳 治	(85歳)
上 円 子 野 中 フ ク	(89歳)
上 舘 内 澤 昭 治	(75歳)
車 門 菅 原 フ チ	(75歳)
山内駒木 川 上 竹 男	(71歳)
山 口 金 山 毅 彦	(52歳)
大 町 君成田 ア サ	(79歳)
下新町 中 村 芳 美	(73歳)
中 村 横 道 一 男	(70歳)
中 村 横 道 忠	(85歳)

※お名前が俗字であっても正字で記載される場合がありますので、ご了承ください。

●人の動き ＜平成22年8月31日現在／町民生活課調べ＞

男 5,241人(－6) / 女 5,424人(－1)

合計 10,665人(－7) / 世帯数 3,737(－6)
※ () は前月比

転入 21人(185人) / 転出 18人(236人)

出生 4人(32人) / 死亡 14人(100人)
※ () は1月からの累計

花 いっぱいコンクール最優秀作品

地域花壇の部



「高柳・花の会」

学校花壇の部



「軽米中学校」

家庭花壇の部



「山崎孝太郎さん(鶴飼)」
写真右は奥さんの秀さん

ほ っ と ひ と い き / 編 集 後 記

盛り上がりを見せた秋まつり。皆さんのご協力のおかげでとても楽しく写真を撮ることができました。ありがとうございます。写真を撮られたけど載ってないという皆さん、すいません。広報に載った写真や載ってないけど撮られたという方で写真が欲しい方は広報係までご相談ください！

音楽、絵画、陸上、バスケットなど好成績が目立った9月。その裏には多くの努力があることを感じました。そして私ごとですが、先日友人の結婚式で友だちとともに「嵐」の歌と踊りを披露。踊りのセンスがない私ですが、1カ月に及ぶ努力の結果それなりのものに!! なったと思っています(山)